

(禁無断転載)

解答は、すべて解答用紙に記入して必ず提出してください。

平成 19 年度  
第 2 回「検定『お伊勢さん』」  
問題用紙  
上級【ものづくりとくらし編】  
(午後 4 時開始 制限時間 60 分)

【注意事項】

1. 解答用紙への記入にあたっては、硬度 HB または、B の黒鉛筆を使用してください。  
(ボールペンは使用不可)
2. 解答を訂正する場合は、跡の残らないようにプラスチック消しゴムで消してください。
3. 解答欄は、各問題につき 1 つのみ解答してください。
4. 問題は全 50 問で、配点は問題 1 問につき 2 点です。

(平成 20 年 3 月 2 日 施行)

伊勢商工会議所

1. 製造業は、いつの時代においても、企業として生き残るために、日々変革を重ねていますが、このため、創業時の主な製造品からかけ離れたかに見える場合があります。それぞれの企業が創業時に扱っていた主な製造品に関する次の設問に記号で答えなさい。

(1) 創業時、マシン部品を主に製造していたのは、次のどの事業所ですか。

(イ) 広瀬精工

(ロ) ノリタケ伊勢電子

(ハ) 美和ロック

(ニ) 神鋼電機

(2) 創業時、兵器の生産から始まり、戦後農機具を主に製造していたのは、どの事業所ですか。

(イ) 京セラ

(ロ) 美和ロック

(ハ) 広瀬精工

(ニ) 松田工業

(3) 創業時、造船所に淵源をもつ鉄工所から分離独立したのは、どの事業所ですか。

(イ) 神鋼電機

(ロ) 菊川鉄工所

(ハ) 松井鉄工所

(ニ) 伊勢金型

2. 大湊の造船業がいつから発達したのかは明らかでないが、周辺資料から、鎌倉時代には存在したことが十分推測されます。木造船時代、大湊は全国有数の造船業地でした。この大湊の造船業史に関する次の説明の中に、間違った文が1つずつあるので、それを選んで、記号で答えなさい。

(4) 室町期、安土桃山期

(イ) 大湊の造船業は、大湊が神宮の外港として、廻船の拠点であったこと、朝熊山や宮川上流に巨木を得られたことで発達した。

(ロ) 延元 3 (1338) 年北畠顕信らが、この地で 100 艘余の船を調えたと伝えられる。

(ハ) 織田信長は石山本願寺との戦いに、九鬼嘉隆に命じ、この地で 6 艘の安宅船を建造した。

(ニ) 室町期から江戸前期にこの地で建造された船は、構造上「伊勢船」と呼ばれた。

(5) 江戸後期、明治初期

- (イ) 近代になって、大湊の造船業を担った市川、内田、強力、松崎、吉川の各造船所は、いずれも江戸期の創業である。
- (ロ) 造船業と船釘鍛冶は切っても切れない関係にあり、最盛期には、船釘、家釘鍛冶は 200 を超えたといわれる。
- (ハ) この時期、大湊では、内海船、白子廻船など伊勢湾一帯の廻船業の造船基地として、弁才船（千石船）を建造した。
- (ニ) 大湊の明治 5（1872）年の職業別戸数を見ると、総戸数 463 のうち、鍛冶 111、船大工 100 となっており、造船業地であることが明らかである。

3. 河崎と二軒茶屋に関する下記の説明のなかに、間違った文がそれぞれ 1 つずつあります。それを選んで、記号で答えなさい。

(6) 河崎

- (イ) 河崎は古くから、伊勢の台所といわれ、江戸期から戦後（太平洋戦争）までは、米問屋、魚問屋、酒問屋などが集中した。
- (ロ) 物流の中心が、水運から自動車交通に変わり、魚市場や酒問屋などが河崎を離れていき、河崎は衰退した。
- (ハ) 隆盛時の様子は、いまに残る蔵や、問屋の建物にその姿を留めている。
- (ニ) 昭和 49 年の七夕水害をきっかけに勢田川の改修が行われるが、それと平行して、町並み保存運動がはじまり、そのシンボルとして、老舗の米問屋の店と蔵を活用した「河崎商人館」ができた。

(7) 二軒茶屋

- (イ) 勢田川の中流の二軒茶屋は、江戸期から、船参宮の人々の上陸地点の一つとして栄えた。
- (ロ) 二軒茶屋のいわれは、かつてこの地に「みなとや」「あずまや」の二軒の茶屋があったことに由来する。
- (ハ) 勢田川整備の一環として、二軒茶屋には川の駅が作られた。
- (ニ) ここでは、こしあんを包んできなこをまぶした名物の二軒茶屋餅が、今も人々に親しまれている。

4. 市内を流れる川には別名のあるものが多い。別名はそれなりに、由来がわかるなど興味が深い。下記の設問の別名は、それぞれの川の名か、記号で答えなさい。

(8) 昔、倭姫命が御裳の裾を濯ぎ給うたことから御裳濯（みもすそ）川という。

(イ) 宮川                      (ロ) 五十鈴川              (ハ) 勢田川              (ニ) 汁谷川

(9) 伊勢神宮に献上する魚を獲ったので御贄（おんべ）川といった。

(イ) 五十鈴川              (ロ) 勢田川              (ハ) 汁谷川              (ニ) 外城田川

(10) 離宮院に沿って流れているので、離宮川と呼んだ。

(イ) 汁谷川              (ロ) 外城田川              (ハ) 宮川              (ニ) 五十鈴川

5. 天然記念物に関する次の設問に、記号で答えなさい。

(11) 伊勢市指定の天然記念物はどれですか。

(イ) 離宮院の寒緋桜                                      (ロ) 旧豊宮崎文庫のオヤネサクラ  
(ハ) 横輪町の横輪桜                                      (ニ) 伊勢高校の御衣黄桜

(12) 三重県指定の天然記念物はどれですか。

(イ) 宮川堤の境楠                                      (ロ) 旭町のアイナシ  
(ハ) 矢持町のオガタマノキ                                      (ニ) 松下社の大楠

(13) 伊勢市指定の天然記念物に指定されていないのはどれですか。

(イ) 蓮台寺の柿                                      (ロ) 厚生小学校のケヤキ  
(ハ) 内宮宮域林の宿り木の桜                                      (ニ) 御菌町の臥龍梅

6. 「お伊勢さんほど大社はないがなぜに宮川橋がない」といわれたように、宮川には、明治になるまで橋がなく、数個の渡しがありました。宮川にかつてあった渡しに関する次の設問に、記号で答えなさい。

(14) 右岸に桜の木がたくさんあったことから「桜の渡し」と呼ばれたのはどれですか。  
(イ) 上の渡し      (ロ) 下の渡し      (ハ) 磯の渡し      (ニ) 上條の渡し

(15) 現在、ほぼ豊浜大橋のある地点にあって、左岸の農水産物を行商する人々によく利用されたのはどれですか。  
(イ) 磯の渡し      (ロ) 上條の渡し      (ハ) 田丸口の渡し      (ニ) 上の渡し

7. 古来、宮川は氾濫を繰り返し、現在山田の市街地になっている部分はその氾濫原でした。これらに関して、次の設問に、記号で答えなさい。

(16) 次の橋のうち、宮川の旧流路に架けられているのはどれですか。  
(イ) 小田橋（岡本）      (ロ) 筋向橋（常磐）  
(ハ) 中橋（河崎）      (ニ) 桜橋（岩渕）

(17) 宮川の氾濫を鎮めるために、人柱となったと伝えられるのは誰ですか。  
(イ) 松原清兵衛      (ロ) 宮嶋丑松      (ハ) 松井孫右衛門      (ニ) 藺田将監

8. 外宮前界限に関する下記の説明の中に、間違った文がそれぞれ1つずつあります。  
それを選んで、記号で答えなさい。

- (18) (イ) 山田は外宮の鳥居前町として発達した。  
(ロ) 明治30年、参宮鉄道が開通すると、江戸時代からあった神宮参道は駅と外宮を結ぶ街路となり、旅館や土産物店が櫛比するようになった。  
(ハ) これらの旅館のうち、木造3階建てで現在唯一残っているのは山田館で、唐破風のある玄関や、3つの千鳥破風を持つ入母屋屋根などに華やかな時代が懐古される。  
(ニ) 外宮前広場は、神苑会が豊川以北の民家を買収、撤去して作られた。
- (19) (イ) 明治34年の県令「神宮宮域及神苑地附近屋舎制限」により、外宮の周辺には30尺を超える建物は建てられなかった。  
(ロ) 勾玉池は、神苑会により作られた人工池で、花菖蒲をはじめ様々な植物が群生し、市民の憩いの場となっている。  
(ハ) 内宮と外宮を結ぶ御幸道路は、別名御成街道と呼ばれ、明治43年に開通した。  
(ニ) 外宮北御門と月夜見宮をつなぐ通りは、月夜見の神が、白馬で外宮に通われる道という伝説があり、「月夜見の道」と呼ばれている。

9. おはらい町、おかげ横丁に関する下の説明のうちに、それぞれ一つずつ間違いがあります。それを指摘し、記号で答えなさい。

(20) おはらい町

- (イ) 参宮街道の最終地点、内宮前に続く約 800mが「おはらい町」である。
- (ロ) 明治以前には、宇治橋の中まで町が続いていた。
- (ハ) 江戸期には、御師の家々が立ち並び、御師が授与したお札を「お祓い」と呼んだことから、町の名がついたといわれる。
- (ニ) 町並み再生に住民が腰をあげ、内宮門前町再開発委員会を結成したのは、第 60 回式年遷宮（昭和 48 年）の直前であった。

(21) おかげ横丁

- (イ) 平成 5（1993）年に内宮前、おはらい町の一郭を整備して造られた。
- (ロ) 伊勢路の代表的な建物を移築したり、再現したりして、伊勢の原風景に出会える町をめざしている。
- (ハ) おかげ座では、役者による芝居、伊勢音頭が上演されて、往時の雰囲気盛り上げている。
- (ニ) 老舗の味や県内の名産品、懐かしい物産が買える店を集め、幅広い層から支持を得ている。

10. 市内の建築物に関する次の設問を読んで、それぞれ正しいものを選んで、記号で答えなさい。

(22) 神宮農業館、神宮徴古館の設計を担当した人物を下記より選びなさい。

(イ) 伊藤忠太      (ロ) 辰野真吾      (ハ) 白石円治      (ニ) 片山東熊

(23) 伊勢の町家の特徴である刻み囲いと呼ばれる外装材がありますがその木材の樹種は普通どのようなものですか。

(イ) 桧      (ロ) 榎      (ハ) 樺      (ニ) 杉赤身板

(24) 市内の有名建築物にはかつての御師の建物がいくつか残っていますが、長屋門をもつものはどれですか。

(イ) 丸岡大夫邸      (ロ) 福島御塩焼大夫邸  
(ハ) 橋村大夫邸      (ニ) 龍大夫邸

(25) 一色町にある昌久寺は地元民の協力のもと移築されましたが、かつての御師の建物であったものです。その御師を下記より選びなさい。

(イ) 橋村大夫邸      (ロ) 福島御塩焼大夫  
(ハ) 太郎館大夫      (ニ) 龍大夫

(26) 賓日館は新築後、何回か増改築を重ね、昭和5年から11年にかけての増改築により大広間などが整備されましたが、担当した設計者は塩野庄四郎と誰ですか。

(イ) 大江宏      (ロ) 大江新太郎      (ハ) 吉田鉄郎      (ニ) 久野節

(27) 古市のかつての姿を伝える麻吉旅館は斜面に沿って建てられていますが、その構造様式はなんと呼ばれますか。

(イ) セガイ造り      (ロ) 懸樋造り      (ハ) 切妻造り      (ニ) 出し桁造り

11. 伝統工芸に関する次の設問を読んで、それぞれ正しいものを選んで、記号で答えなさい。

(28) 伝統工芸品には地元の最適な材料が使われますが朝熊黄楊を使用しているのは以下のどれですか。

(イ) ヨーヨー      (ロ) ケン玉      (ハ) 提灯      (ニ) 根付

(29) 伊勢正直と呼ばれる匠が製作したものは以下のどれですか。

(イ) 鳴りこま      (ロ) 煙草入      (ハ) 提灯      (ニ) 根付

(30) お蝶殿の手車と呼ばれた土産ものを元祖とするといわれている玩具はどれですか。

(イ) デンデンタイコ      (ロ) コマ  
(ハ) ケン玉      (ニ) ヨーヨー

(31) 工芸品の中で特に縁起物として製作されて人気のあるものはどれですか。

(イ) 鳴りコマ      (ロ) ケン玉      (ハ) 根付      (ニ) 一刀彫

(32) 「廉価にして堅固」伊勢春慶の箱物の特色でないものはどれですか。

(イ) 指物      (ロ) 刳物      (ハ) 角コクソ      (ニ) 柿渋

(33) 明治 4 (1871) 年御師制度が廃止されて以後、御師龍大夫邸の跡地を製作場に行っている地場産品はどれですか。

(イ) 根付      (ロ) 神具      (ハ) 和紙      (ニ) 伊勢春慶

(34) かつて伊勢土産で重宝された笛はどのようなものですか。

(イ) 横笛      (ロ) 縦笛      (ハ) 鳩笛      (ニ) 笙の笛

12. 伊勢の名物に関する設問について、最も適切なものを選んで、記号で答えなさい。

(35) 次の伊勢うどんを説明した文章のうち、誤っているのはどれですか。

- (イ) 今から約 380 年前に神宮の神楽役人により今の形になったといわれる。
- (ロ) 昆布や鰹、煮干でとった出汁に醤油を加えたつゆを、どの店も継ぎ足しながら味を守っている。
- (ハ) 大勢の参拝客に早く出せるようにと工夫されたファストフードのさきがけともいわれている。
- (ニ) 多量のきざみねぎをのせただけのシンプルなものだった。

(36) 中里介山の小説「大菩薩峠」に登場する実際にあったとされる伊勢うどんの有名な店はどこですか。

- (イ) 橋本屋            (ロ) 河崎屋            (ハ) 豆腐六            (ニ) 千登勢

(37) 生姜糖の創製年代は明らかでないが、寛政年間に作り始めたとされる。その店は次のどこですか。

- (イ) 岩戸屋            (ロ) 山形屋            (ハ) 二光堂            (ニ) 湊屋

13. 伊勢の風習に関する設問について、最も適切なものを選んで、記号で答えなさい。

(38) 次の文章は雑煮に使う餅「こどら」のことを説明したものです。正しいのはどれですか。

- (イ) こどらとは、なまこのことで、神宮の神饌の餅が一合分の小判型の餅を重ねていることにちなむ。
- (ロ) こどらとは、アワビのことで、神宮の神饌の餅が一合分の小判型の餅を重ねていることにちなむ。
- (ハ) こどらとは、なまこのことで、神宮の神饌の餅が一合分の銅鑼型の餅を重ねていることにちなむ。
- (ニ) こどらとは、アワビのことで、神宮の神饌の餅が一合分の銅鑼型の餅を重ねていることにちなむ。

(39) しめ縄の木札に記す文字は「蘇民将来子孫家門」以外にもあります。道の神を示すといわれるもので、「八衢比古神・八衢比売神」とともに記すのはどれですか。正しく表記されているものを選びなさい。

- (イ) 九那斗神            (ロ) 久那斗神            (ハ) 九奈斗神            (ニ) 久奈途神

(40) 神宮への「ついたち参り」「みそか参り」の風習はいつごろから定着したといわれていますか。

(イ) 江戸時代中期

(ロ) 幕末頃

(ハ) 明治以後

(ニ) 第二次大戦以後

(41) 明治以前に、お雑煮に添えていたといわれる食べ物は何ですか。

(イ) トクサイワシ

(ロ) ヒイラギイワシ

(ハ) ホシカイワシ

(ニ) ニラミイワシ

14. 次の文章は伊勢に伝わるある民話です。文中の（ ）に、下の選択肢の中から正しい語句を選び、話を完成させてください。

参宮街道を寂照寺から内宮へ向かって進むと、左手に「月よみの宮さんけい道」と刻まれた道標がある。ここを左手に折れ、月読宮へと向かう中村の里に、(42) という豪胆な神主がいた。近くにあった畑が、夜になると猪や鹿に荒らされるので、小屋を建てて下男を泊まらせ、毎晩ホラ貝を吹いて番をさせていた。

ある夜のこと、下男がうとうとしていると、突然、(43) をひっくり返す者がいる。驚いて起きたが誰もいない。その翌晩も、また次の夜も、そんなことが続いた。下男からこのことを聞き自ら出かけて正体を捕らえると、(44) という法螺貝の化身。「この近くに住む、顔は牛、体は人間の姿をしている化け物に、自分の夫と子どもを食われ、残る一人の子どももいつ食われるかもしれない。どうぞ助けてください」とのこと。頼みを聞きいれ、名刀「(45)」でみごとに退治した。

参宮街道をまっすぐに進むとやがて現れる下り坂を「牛谷坂」と呼ぶのは、この話から名づけられたという。

(42) (イ) 園田将監 (ロ) 蘭田将監 (ハ) 園田将顕 (ニ) 蘭田将顕

(43) (イ) 卓袱台 (ロ) 布団 (ハ) 枕 (ニ) 鍋

(44) (イ) 猫女 (ロ) 貝女 (ハ) 狐女 (ニ) 蛇女

(45) (イ) 村正 (ロ) 長船 (ハ) 天国 (ニ) 烏丸

15. 伊勢のことばに関する設問について、最も適切なものを選んで、記号で答えなさい。

(46) 次の言葉を伊勢ことばで話すと次のどのアクセントになりますか。(傍線部分が高い(強い)アクセントを表わします)

「橋の端を通る」

(イ) ハシ の ハシ を通る

(ロ) ハシ の ハシ を通る

(ハ) ハシ の ハシ を通る

(ニ) ハシ の ハシ を通る

(47) 次の文のうち誤った伊勢弁の使い方はどれですか。

(イ) ひこと、ちょける。

(ロ) ごつつおーが、あめる。

(ハ) すりぬかを、こびる。

(ニ) おんごろを、おわえる。

16. 人の性格や特徴などを表わす次の用語はそれぞれどれにあたりますか。最も適切なものを選択肢より選んで、記号で答えなさい。

(イ) ごますり      (ロ) わがままもの      (ハ) うそつき      (ニ) いたずらもの

【伊勢弁】

(48) きままこき      (イ)      (ロ)      (ハ)      (ニ)

(49) どもならず      (イ)      (ロ)      (ハ)      (ニ)

(50) まいすこき      (イ)      (ロ)      (ハ)      (ニ)